

新入生対象

全学教職課程履修説明会実施



ろん、早ければ早いほど無理のない履修を組むことができます。しかし、こうした学生を排除するのではなく、むしろ積極的に歓迎し、フォローアップできる体制を整えていることも説明会では伝えています。

新入生は、各学部で教員免許の取得ができることを丹念に把握して本学を受験・合格しています。しかし、専門学部と教職課程の両立にどのような難しさが伴うかについて、必ずしも十分な情報は持っていないようです。センターHPでは「全学教職課程Q&A」という場所を設け、履修者にアナウンスしていますので、ぜひ覗いてみてください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/cted/curriculum/4.html>

センターは、皆さんの教師になる夢を応援します。困ったことがあれば、気軽に訪ねてください!!

【文責：高旗浩志】

「全学教職オリエンテーション」〈主として1年生対象〉

全学オリエンテーションは、教育学部以外の学部にも所属しながら教員免許状取得を目指す学生さんを対象に実施する最初のプログラムです。教職への意志が明確な人も、迷っている人も気軽に参加してください。お待ちしております！

〈前半部〉 ※後日「後半部」が別途あります。

【文系学部】 日時：平成30年5月11日（金） 7,8限

場所：教育学部講義棟2階 5202

【理系学部】 日時：平成30年5月9日（水） 7,8限

場所：教育学部講義棟2階 5202

岡山県・岡山市 ボランティアシンポジウム開催

2月17日、「刺激×出会い=?~新しい自分見つけませんか?~」をテーマに岡山市学校支援ボランティア学生シンポジウムが始まりました。第一部ではボランティア体験した学生、卒業生の実践発表。そこでは声かけのタイミング一つでも迷いと悩みを痛感する「現実の難しさ」や、そこで知識や観念的理解が揺さぶられ深化していく体験が語られました。また、それらをテーマに第二部のディスカッションでも大いに盛り上がりました。



「教師への道」インターンシップ事業シンポジウムは、その1ヶ月後3月17日に開催。「これからの教員に求められる資質能力」をテーマにパネルディスカッションが行われました。学生パネラーからは「教師への道」研修を通して、「自分本位」でなく「相手本位」になることの大切さ、様々な教育課題が「ジブンゴト」になったことなど前向きな発言が出ました。会場の学生からも様々な意見が引きも切らず、予定時間いっぱいまで大きな会場全体に学生の熱気があふれました。体験的学びと大学での授業、その双方向的なこれからのあり方を改めて考えさせられる2日間でした。 【文責：山下陽子】

岡山大学スクールボランティアオリエンテーション2018を開催!! 新しくなったVALEOも始動!!



新年度がスタートして間もない4月11日、昨年までのスクールボランティアフェアをリニューアルした説明会形式による岡山大学スクールボランティアオリエンテーション2018が教育学部本館401講義室で開催されました。

岡山県・岡山市教育委員会をはじめとして、11の団体の方々に参加をいただき、全学から160名を超える学生が参加しました。各団体5分という限られた時間にもかかわらず、それぞれのボランティアの意義や魅力について工夫を凝らした資料やスライドを使っの熱い説明が続きました。又、昨年までのボランティア経験者の感想等も紹介がありました。いずれもこれからボランティアを考える学生にとっては大変興味深い内容に熱心

に聞き入っていました。オリエンテーションに先立ち、フィールドチャレンジ委員会の酒向先生からは、ボランティアの実績が単位として認定される履修制度に関する説明もあり、オリエンテーションの後には、岡山市教育委員会による学校支援ボランティア登録研修会が実施されました。登録研修会ではVALEO（学校支援ボランティア支援システム）の登録方法の説明も合わせて行われました。

VALEOは今年度システムを一新し、岡山市でボランティアを行うすべての学生を対象とした本格運用が始まります。4月5日~6日に実施されたVALEOの登録会とあわせると今年度の岡山大学生の登録者数は大幅に増加し既に934人と昨年の4倍を超えています。一人でも多くの学生のボランティア活動に繋がり、貴重な経験ができることを願っています。 【文責：橋本拓治】

3月20日(火)と3月28日(水)に、学生及び現職教員を対象とした平成29年度CST認定証授与式が行われました。学生16名と現職教員9名がCSTに認定され、学生には橋本副センター長から、現職教員には高塚センター長から認定証が手渡されました。

CST養成プログラムでは、教職を目指す校種や個々の経験や能力に応じて内容や方法を選択して学べる学生のための講座や、異なる勤務状況に応じて必要な講座を組み合わせ受講できる現職教員のための講座を実施してい

ます。CSTに認定された学生や現職教員には、教育現場の理科教育を支える人材としての活躍が期待されています。なお、現職教員の認定証授与式と並行して平成30年度から新たに参加される第八期生への説明会が開催され、小学校から5名、中学校から2名

が参加されました。当日は、第六期生と第八期生で懇談していただく場を設け、プログラムに参加しての感想や参加する上での疑問などを自由に交換していただきました。

【文責：山崎光洋】



教員リレーエッセイ

「教員になる」から「このような教員になる」へ

センター長 三村 由香里 教授

教員養成に携わるようになって20年を超えますが、「このような教員」を育てたいと考えようになったのは、お恥ずかしいですが最近のことです。きっかけは今年度、教育学部でスタートした「岡山県北地域教育プログラム」です。その準備を進める中で、「どのような教員が求められているのか」、「どのような教員を育てなければいけないのか」を考えるようになりました。現在、岡山県の北部では人口減少が進み、学校はもとより、地域の存続さえも危ぶまれるところがあります。そのような地域において、教員は質の高い教育をすることはもちろんですが、学校教育を通じて地域を支え、活性化させて行くという地域社会に貢献することも求められます。このような教員を育てることを目的に始まったのがこのプログラムです。「地域の課題解決に貢献する教員を育てる」という養成目的を明確にした岡山大学の新たな試みです。このプログラムは「岡山県北」という名称ですが、地域の課題はどこにもあり、そ

の課題解決のために活躍できる教員は魅力的だと思います。基礎的な知識と技能を持つことで、どのような教育現場、地域へも適応し、その場所でも求められることに取り組むことができると思いますが、地域の課題を養成段階から知り、その課題に対して自分は何ができるかを焦点化して「このような教員になる」というのも必要ではないかと思っています。このことは「教員になる」だけではなく、「教員になって何をやるか」につながると考えられるからです。将来の自分の姿を思い浮かべて、ぜひ、なりたい自分になっていただきたいと思います。



教職相談室では、学校や教育行政の現場で活躍されている方をお招きし、「教師力養成講座」を開催しています。この講座では、学校現場で取り組まれている教育活動の実際を語っていただいています。それをもとに、参加者が意見を出し合い考えを深め合っています。9割を超える参加者から「教師になる上で役立つ」という評価を得ています。また、その記録を50分程度のDVDに編集して、教職相談室でも活用しています。

平成30年度から、この講座が授業となります。平成30年度の3年生から授業として履修できるようになります。

【科目区分】 高年次教養科目 [1単位]

【授業科目】 「教師力養成演習(学校教育の現代的課題)」

【授業時間】 年間8回開講(講師招聘は6~7回予定) 水曜日5・6限

*新3年生は、履修登録をしてから、受講してください。

*新4年生は、講座の開催予定のポスターを確認し、その回毎に教職相談室に参加申込をしてください。

教員採用試験の **ツボ** その二十一「志望自治体の特色をつかもう」

連載

つかんでほしい「特色」は二つあります。一つは志望自治体の「教育方針」、もう一つは「出題傾向」です。

各自治体では国の教育振興基本計画を踏まえて「自治体独自の教育振興基本計画」(独自の名称があるので注意!)が策定されています。また、自治体の長が定めた「教育大綱」が策定されている所もあります。そこに各自治体の特色ある「教育方針」が示されています。インターネットなどでそれらを手にし、自治体が求める教師像や重視されている教育内容などを掌握しましょう。筆記試験はもちろんのこと、願書の作成や面接試験、小論

文の記述にも必ず生かされるでしょう。自己アピールを考える際、自分の長所と自治体の求める教師像などをうまくリンクさせることが大切です。

また、教員採用試験の内容は自治体によって大きく異なり、それぞれ特色があります。同じ「個人面接」でも時間や質問傾向などに様々な違いが見られます。一般的には細かな内容の入手は困難ですが、教職相談室には出題傾向の特色が分かる先輩の受験体験記があります。予約なしで見ることができるので、ぜひ目を通して万全の対策をしてほしいと思います。 【文責：河内智美】

合格

＜教員採用試験受験記＞ 岡山市 小学校教諭 合格

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース(特別支援教育専修) 小笠原 陸 さん

最近、教職に就こうか一般職に就こうか悩んでいるという相談を何度か後輩から受けることができました。確かに、職に就くということは将来を決定づける重大な決断であると思います。例にもれず、私も同じく悩みながら小学校教諭という道を選びました。

小学校教諭という選択をした後も教採対策をする中で不安になることが多々ありました。けれど、それでも頑張

ることができたのは周りにいた仲間や先生方のおかげだと感じています。自分だけで何とかできる方ではなかったため、一緒に教採を頑張ってくれる仲間が周りにいたことは私の大きな力となりました。その仲間とのつながりはこれからもきっと自分の支えになると思います。教採を目指す皆さん。ぜひ、相談室に行ってみてください。同じ目標をもった人たちにどんどん歩み寄って大きなたつがりの輪を広げていってください。その輪が大きいほど大きな力となってくれると思いますよ。